

第 31 回第二言語習得研究会(JASLA) 全国大会

プログラム（オンライン開催）

※今回の全国大会は、オンラインにて開催します。Zoom のセッションを 2 つ開設し、口頭発表では 2 つのセッションを同時並行で進めます。以下、(room A)、(room B)は、zoom のセッション名を示します。

※大会参加費：一般 4,000 円、学生 2,000 円（事前申込が必要です。当日受付は行いません）

■ 2020 年 12 月 12 日(土)■

10:00～12:00 ジャーナル連動企画 (room A)

「論文執筆・投稿から掲載までの道のり—論文掲載者に聞いてみよう！—」

※今回、大会運営委員会とジャーナル委員会との連動企画として、ジャーナル『第二言語としての日本語の習得研究』に近年論文が掲載された方をお招きして、論文執筆から掲載にいたるまでのプロセスを語っていただくとともに、参加者からのご質問もお受けする、という場を設けました。ジャーナルへの投稿を計画しているすべての方にとっておすすめの企画です。

司会：永田 良太（広島大学）

【発表者】

- 洪 春子（お茶の水女子大学大学院生）[第 23 号に論文掲載]
- 鈴木 一徳（東京工業大学大学院生）、山下 順子（広島大学大学院生）[第 22 号に論文掲載]
- 吉川 達（佐賀大学）[第 21 号に論文掲載]

13:00～13:10 開会式 (room A)

司会：宇佐美 洋（東京大学）

開会宣言 清水 崇文（第二言語習得研究会 会長）
事務局からの連絡

13:20～14:50 <<ポスター発表>> (Slack 上でディスカッション)

(1) 機械学習に基づく話し言葉と書き言葉の特徴分析

李 在鎬 (早稲田大学)

(2) コーパス分析システムを活用した作文指導の可能性

本間 妙・山本 裕子 (以上, 愛知淑徳大学)

(3) I-JAS コーパス「対話」タスクにおける接続詞使用について

—英語・中国語・韓国語・日本語母語話者を比較して—

長田 涼子 (テンプル大学ジャパンキャンパス)

(4) 統合タスクにおける読解ノートと口頭報告の関係

—学部留学生 2 名の事例から—

石井 怜子 (所属なし) ・菅谷 奈津恵 (東北大学)

(5) 語用論的能力の発達過程

—ヘッジ表現を伴う間接発話行為の理解能力の考察—

堀田 智子 (東北大学)

(6) 文章聴解における空間的状況モデルの構築と視空間作動記憶の働き

—母語話者と日本語学習者の比較を通して—

林 韻 (広島大学大学院生)

15:00～16:05 <<口頭発表 1>> (room A)

司会: 高村 めぐみ (愛知大学)

15:00～15:30 韓国語・中国語・英語話者による日本語終助詞『ね』の習得研究

—ポライトネス理論によるコミュニケーション機能の視点から—

原田 佳祐 (アルバータ大学大学院生)

15:35～16:05 上級日本語学習者のリピーティングにおける音韻情報と意味情報の相対的優位性の検証

毛 炫琇・李 静宜・張 鶴鳳・齋藤 晶 (以上, 広島大学大学院生)

15:00～16:05 <<口頭発表 2>> (room B)

司会：金子 史朗（友ランゲージグループ校）

15:00～15:30 習熟度別に見た中国人日本語学習者の読点使用の分析

岩崎 拓也（国立国語研究所）

15:35～16:05 正確さにもたらされるライティングフィードバックの短期的な効果の検証

岡野 靖子（広島大学大学院生）

（休憩）

16:20～17:25 <<口頭発表 3>> (room A)

司会：高村 めぐみ（愛知大学）

16:20～16:50 中国人日本語学習者の聴解活動における未知の擬態語の意味推測—音象徴に関する知識と文脈情報の量による影響に着目して—

柏 晨悦（京進ランゲージアカデミー）

16:55～17:25 第二言語学習者の逐次通訳における作動記憶の機能—構音抑制課題を用いた実験的検討—

王 金芝（広島大学大学院生）

16:20～17:25 <<口頭発表 4>> (room B)

司会：金子 史朗（友ランゲージグループ校）

16:20～16:50 タスクの認知的複雑さが中国人日本語学習者の独話に与える影響—流暢さ、複雑さ、正確さ、語彙の豊富さを用いた分析—

金 銀姫（神田外語大学大学院）

16:55～17:25 インプット修正の聴解への効果—上級日本語話者を対象に—

小林ヒルマン 恭子（ブリティッシュコロンビア大学）

※今回懇親会の開催はありません。

■2020年12月13日(日)■

10:00～12:00 <<基調講演>> (room A)

司会：義永 美央子 (大阪大学)

雑談をめぐる雑談—社会的意義から教育への示唆まで—

村田 和代 (龍谷大学)

12:00～12:15 総会 (room A)

(昼休み)

13:30～16:20 <<シンポジウム>> (room A)

雑談研究と第二言語教育

コーディネーター：岩田 夏穂 (武蔵野大学)

雑談の構造分析—日本語教育への応用に向けて—

筒井 佐代 (大阪大学)

学習者の相互行為能力—学習者の相互行為能力—会話分析からのアプローチ—

森本 郁代 (関西学院大学)

学習者の雑談力向上のために何が教えられるか

西郷 英樹 (関西外国語大学)

16:20～16:30 閉会式 (room A)

司会：宇佐美 洋 (東京大学)